

令和8年度 松戸市当初予算案

“暮らし応援×未来投資予算”

令和8年度松戸市当初予算案を
令和8年松戸市議会3月定例会に提案します

松戸市長 松戸 隆政

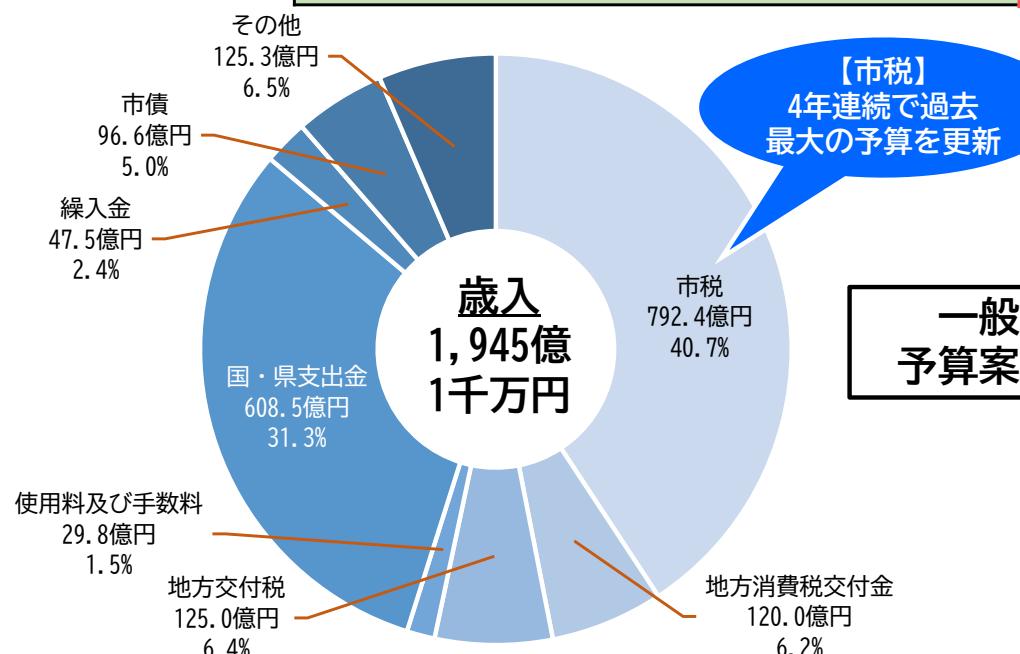
【連絡先】
松戸市財務部財政課
☎047-366-7076 FAX047-366-1241
✉mczaisei@city.matsudo.chiba.jp

令和8年度 松戸市当初予算案

- 一般会計：1,945億1,000万円 (前年度比：4億7,000万円 0.2%減)
- 予算総額：3,896億7,488万8千円 (前年度比：115億3,793万円 3.1%増)

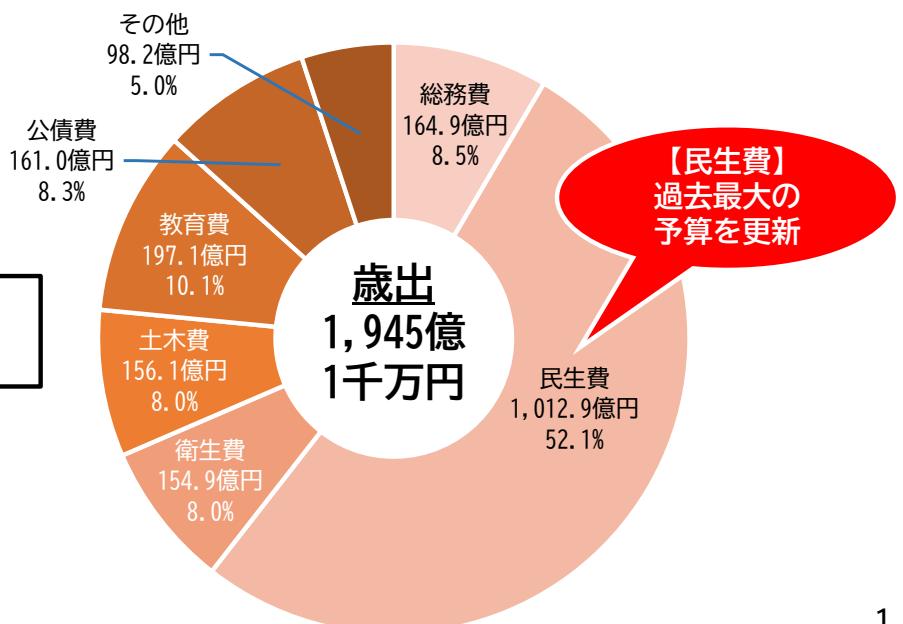
(○一般会計：過去2番目の当初予算額 (R7当初予算が過去最大) ○予算総額(全会計)：過去最大
[単位：億円])

会計	令和8年度	令和7年度	R 8 - R 7
一般会計	1,945.1	1,949.8	▲ 4.7
特別会計	国民健康保険特別会計	423.8	419.0
	競輪特別会計	457.9	343.7
	公設地方卸売市場特別会計	1.1	1.0
	駐車場事業特別会計	2.1	1.7
	介護保険特別会計	453.0	440.2
	後期高齢者医療特別会計	93.3	81.7
	新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計	9.3	16.3
	相模台地区土地区画整理事業特別会計	0.7	0.8
計		1,441.2	1,304.4
企業会計	水道事業会計	27.2	24.8
	病院事業会計	287.0	315.5
	下水道事業会計	196.3	186.9
	計	510.5	527.2
予算総額		3,896.8	3,781.4
			115.4



一般会計 予算案の内訳

【市税】
4年連続で過去
最大の予算を更新



【民生費】
過去最大の
予算を更新

令和8年度予算編成の考え方について “暮らし応援×未来投資予算”

市長就任後初の予算編成に込めた基本姿勢

- 市長就任時に本市の財政状況を分析
- 令和9年度には市の貯金である財政調整基金がゼロになる可能性がある
- 令和7年8月に「財政運営の基本方針」を策定

この基本方針の下、**市長公約の実行を念頭に置いた**市長就任後初めての予算編成として、

①物価高騰対策など暮らしを守る政策をベースに、

②未来への投資と③財政改革の2つの両立を基本姿勢として “暮らし応援×未来投資予算” を編成

①物価高騰対策

※事業内容の後ろに () がついているものは、詳細ページあり

物価上昇率に名目賃金が追い付かず、生活水準の低下を余儀なくされている市民を支援するため、市長就任後、学校給食費の2学期・3学期の全額無償化等をスピード感をもって実施しました。**令和8年度当初予算につきましても、引き続き小学校給食費の全額無償化を実施します。**なお、中学校給食費については、一部自己負担となりますが、保護者の負担を可能な限り軽減する措置を講じてまいります。

市長公約	→	予算化	予算額
食料品等に使える「暮らし応援クーポン」の配布		暮らし応援給付金として全市民1人当たり現金3,000円を給付 (P3)	18億8,210万6千円 (繰越明許額)
学校給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担軽減		小学校：全額の無償化 (P3、P16) 中学校：第1子・第2子は年間最大11,000円相当額減額、第3子以降は全額無償化 (P3、P16) 幼稚園・保育園児等：3歳～5歳(第1子から支援)に年間最大12,000円支援 (P3、P17)	3億8,152万3千円

②未来への投資

財政状況が厳しい中においても**「未来への投資」は必要不可欠**であることから、選択と集中を基本に大型事業等の着実な実施に向けて、実施時期の最適化を図りました。その上で、街づくりへの投資を止めることのないよう、必要な対策を講じました。

市長公約	→	予算化	予算額
クリーンセンターなど生活に直結するインフラの整備・更新を最優先		懸案事項であった新焼却施設について、迅速な意思決定により整備を本格的に進めます。 (R8年度以降の債務負担行為設定額を含めた額:1,040億5,162万1千円) (P4、P38)	9,598万円
江戸川など、地域に息づく風景や史跡を磨き直し、資源として活用		江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用の検討開始。 (P4、P26)	748万3千円
自然体験型レジャー施設を整備		「21世紀の森と広場」等のパークPFI導入の検討開始。 (P4、P25)	7,480万円
常盤平団地とその周辺地域の再生を促進し、常盤平地域の活性化を図る		常盤平地区のまちづくりを推進します。 (P4、P25)	
電柱の地中化を進め安全な街づくりを促進		八柱駅周辺地区の無電柱化を進めます。 (P32)	2億3,200万円

③財政改革

財政調整基金(市の貯金)の減少や実質単年度収支の赤字の進行、経常収支比率の上昇といった課題を踏まえ、財政の健全化に向けた対策を講じました。

市長公約	→	対応
財政の健全化と透明化		実質単年度収支黒字化3か年計画(R8～R10)に基づき、財政の健全化に向けた取組みを着実に進めました。 その一環として、既存事業の継続的な見直しを行うとともに集中している大型事業については、実施時期の最適化を図りました。⇒ 取組みの初年度として、改善が見込まれます。 (P5、P6)
総合医療センターの経営を徹底的に見直します		経営再建方針では、本業収益が改善されない場合、病院事業会計への繰出金が50億円以上に急増する可能性がありました が、救急搬送応需の強化及び経営再建プロジェクトチームの設置等、スピード感をもって対応したことで、当初予算では病院会計への繰出金を25億円に抑制しました。⇒ 取り組みの初年度として、改善が見込まれます。 (P5、P19)
市役所移転計画を白紙撤回し、コンパクトで機能的な新庁舎のあり方を見直します。		新庁舎の建て替え場所の決定と、費用縮減を意識した整備検討 ⇒ スピード感をもって対応 (P5、P21)

①物価高騰対策

国の重点支援地方創生臨時交付金等を活用しながら、**足元の物価高騰への対策を最優先**に、市民の皆さまの暮らしを守るため、**総額約70億円規模の支援パッケージを展開**します。今後も市民生活を全力で支援していきます。

令和7年度主な対応事業

市単独 市長公約

- ①小・中学校給食費の支援
- ②幼稚園・保育園等の給食費等の支援

22億2,982.7万円
(一般財源額)

4月から実施している給食費支援等の取り組みについて、同交付金を活用することで市の財政負担の平準化を図るもの。

市単独

- ③第3子以降の保育料の完全無償化（R7.9月～）

8,669.8万円
(一般財源額)

第3子以降の保育料減免の年齢制限を見直し、完全無償化する。

市単独 市長公約

- ④暮らし応援給付金の支給（1人3,000円）

18億8,210.6万円

物価高の影響を受けている市民生活を支援するため、全市民に1人当たり3,000円を支給する。
支給開始：4月中旬予定

国制度

- ⑤物価高対応子育て応援手当の支給（1人20,000円）

15億6,448.2万円

物価高の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童1人当たり20,000円を支給する。

令和8年度主な対応事業

市単独 市長公約

- ①小・中学校給食費の支援
- ②幼稚園・保育園等の給食費等の支援

3億8,152.3万円
(一般財源額)

①小学校給食費は、国による「給食費負担軽減交付金」の基準額の超過分を市で負担する。中学校給食費は、第1子・第2子は年間最大11,000円相当額を減額し、第3子以降は全額無償化を実施する。
②3歳～5歳（第1子から支援）年間最大12,000円を支援する。

市単独

- ③第3子以降の保育料の完全無償化（R8.4月～）

1億3,348.7万円
(一般財源額)

引き続き第3子以降の保育料減免を実施する。

市単独

- ④農業用資材費の支援

2,000万円

農業者に対し、種苗費、荷物運賃手数料・動力光熱水費に係る経費の一部を支援する。

県・市制度

- ⑤市営水道料金の減免（減免率20%）

9,409.6万円

千葉県と連携して水道料金の減免を実施する。
対象期間：令和8年7月～10月検針分（4か月間）

②未来への投資

○本市が将来にわたって持続的に発展していくためには、今を支えるだけでなく、
「未来への投資」が必要不可欠です。未来へ向けた成長の基盤を着実に築くことを目指した予算としています。

※事業内容の後ろに（）がついているものは、詳細ページあり

①新焼却施設の整備 予算額9,598万円 (R8年度以降の債務負担行為設定額を含めた額：1,040億5,162万1千円) (P38)

○懸案事項であった新焼却施設について、迅速な意思決定により整備を本格的に進めます。

○可燃ごみなどを安定的かつ効率的に処理していくため、旧クリーンセンター用地に、新たな焼却施設を整備します。令和8年度はこれまで実施してきた環境影響評価と並行し、事業者選定を実施します。

②松戸駅周辺地区のまちづくり 予算額13億2,150万5千円 (P21、P22)

○駅周辺の回遊性や利便性の向上を図るため、松戸駅の改良工事に伴い、令和8年度は西口駅前広場において、主に階段の新設やタクシー乗り場の改修を行います。

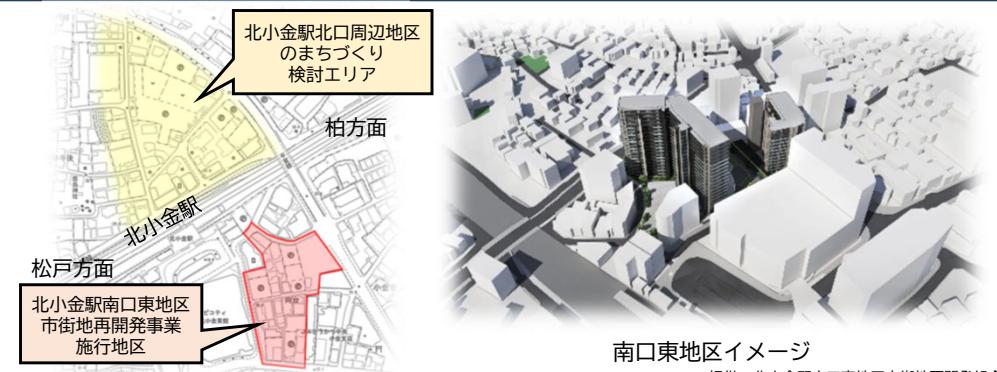
また、官民連携のまちづくりを目指し、エリアプラットフォーム構築の準備を行います。



③北小金駅周辺地区のまちづくり 予算額10億9,720万円 (P23)

○南口東地区においては、防災性・安全性の向上、まちの快適さ・暮らしやすさの向上を図るため、組合施行の市街地再開発事業による施設建築物の工事着工に伴い、補助します。

○北口周辺地区においては、駅前の狭い道路や歩行者の安全性などの改善や交通利便性の向上を図るとともに、土地の健全な高度利用の促進とあわせて、参道入口にふさわしいまちづくりを目指し、地権者の合意形成や交通量調査などを行います。



南口東地区イメージ

提供：北小金駅南口東地区市街地再開発組合

④新松戸駅東側地区のまちづくり 予算額8億1,728万4千円 (P24)

○魅力ある市街地の形成と地区的課題である狭い道路の解消、駅前広場や下水道・斜面緑地の整備などを目的として、地域の皆様と共に土地区画整理事業を推進するため、必要な補償契約や設計、工事等を行います。

⑤常盤平地区のまちづくり 予算額7,480万円 (P25)

○まちづくりへの気運醸成を図るために、実証実験を通じた公共空間の利活用や地域に求められる機能などについて意見収集を行い、次期「まちづくり計画」へ反映していきます。また、「21世紀の森と広場」などのパークPFI導入に向け、条件の整理に取り組みます。



⑥江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用 予算額748万3千円 (P26)

○憩いや安らぎを提供する良好な河川空間の形成を行うため、かわまちづくり協議会を設立します。

また、社会実験を行うことで今後の計画策定に反映していきます。



○令和7年8月22日の全員協議会でお示しした3つの基本方針に基づき、施策の着実な実施を意識した予算編成としました。

I. 財政運営の基本方針に基づいた予算編成について

○令和9年度には、市の貯金である財政調整基金がゼロになる可能性(R8残高：14.2億円)や実質単年度収支の赤字(R8：▲60.8億円)といった構造的な課題に直面している。

・実質単年度収支黒字化3か年計画(R8～R10)に基づき、継続的な既存事業の見直し等を行うとともに、集中している大型事業については、着実な実施に向けて、実施時期の最適化を図ったうえで財政構造の健全化に向けた道筋を着実に進めました。

その結果、「財政運営の基本方針」策定時と財政改革後を比較すると、令和8年度の財政調整基金残高は14.2億円から40.5億円に増加し、26.3億円の改善が見込まれます。また、実質単年度収支の赤字額は、▲60.8億円から▲35.6億円に縮小し、25.2億円の改善が見込まれることから、財政力の向上が着実に確保されています。

➢ 「財政運営の基本方針」策定時の見込み額

	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (決算額)	令和7年度 (見込額)	令和8年度 (見込額)
財政調整基金(市の貯金) 残高	129.9	107.3	80.7	54.2	14.2
実質単年度収支	▲ 28.6	▲ 32.3	▲ 23.5	▲ 21.3	▲ 60.8

➢ 財政改革後

令和8年度 (見込額)
40.5
▲ 35.6

26.3億円
&
25.2億円
の改善

取組みの初年度として、
改善が見込まれます。

II. 松戸市立総合医療センター経営再建方針に基づいた予算編成について (P19)

○経営再建方針において、本業での収支が改善できなかった場合、一般会計から病院事業会計への繰出金が50億円以上に急増する可能性あり。

経営再建へのロードマップ

①経営再建プロジェクトチームの設置

②救急搬送応需の強化等 ➔ 1日平均入院患者数
R6：469人 ➔ R7見込：489人 病床稼働率
R6：83.5% ➔ R7見込：86.1% 救急応需件数（2次+3次）
R6.4-12月：4,648件 ➔ R7.4-12月：5,256件

③採用抑制等による人件費の抑制 ➔ 職員数
R7.4時点：1,147人 ➔ R8.4時点：1,110人 給与費率
R6：70.8% ➔ R7見込：68.1%

○スピード感をもって対応したことにより、対前年度 経常損益約10億円改善することができました。

➡ 経営再建方針策定時には、一般会計から病院事業会計への繰出金を51億円と試算していましたが、
経営改善等の状況を踏まえ、当初予算では繰出金を25億円に設定しました。
(当初予算への計上は25億円とし、想定される追加の繰出金15億円については、診療報酬改定の効果を見極めたうえで検討)

○経営再建方針策定時に掲げた病院会計への繰出金と現状 ➔ 51億円(再建方針) ➔ 25億円 ▲26億円

取組みの初年度として、
改善が見込まれます。

III. 新庁舎の整備方針に基づいた予算編成について (P21)

○仮庁舎への早期移転

○新庁舎の建て替え場所の決定と、費用縮減を意識した整備検討

- ・比較検討結果と、市民やプロジェクトチームの意見を踏まえ作成した市の考え方をもとに、
出来るだけ早期に建て替え場所を決定
- ・建て替え場所決定後は、計画等検討の中で、コンパクトで機能的な新庁舎整備を目指し取り組む

スピード感をもって対応

○財政状況が厳しい中、令和8年度予算編成においては、「財政運営の基本方針」に基づき、職員一丸となって財政改革に取組みました。

職員一丸による予算編成の取組み

①市長による予算編成ヒアリングを14年ぶりに復活 約12億7,100万円確保

○市長自ら各担当課へのヒアリングを行い、約60事業について事業内容や優先順位、実行性を一つひとつ確認し、職員一丸となって予算編成に取組みました。

本市初の取組み

②インセンティブ予算制度の導入 取組み件数：49件 約8,100万円確保

○各部が主体となって実施した歳出削減や新たな歳入確保などにより生み出した財政効果額の50%を上限に、当該部署の新規施策等へ活用できる制度を本市初の取組みとして導入しました。
同制度については、各部署間との連携・協力のもと、今後も着実に推進してまいります。

本市初の取組み

③サンセット方式の導入 取組み件数：57件 来年度以降の財政効果を見込む

○新たな事業等を実施する際には、あらかじめ一定程度の実施期間を定め、終了時に効果検証をしたうえで継続の有無を判断する制度を本市初の取組みとして導入しました。
同制度については、各部署間との連携・協力のもと、今後も着実に推進してまいります。

④歳出事業の効率化 効率化件数：33件 約1億4,500万円確保

○時代の変化によりニーズが低下した事業等を整理・見直すため、各部署と連携・協力しながら約100事業のソフト事業に対し複数回のヒアリングを実施しました。

⑤集中している大型事業の実施時期の最適化に向けた検討：約55億7,000万円(実施時期再検討額)

○「財政運営の基本方針」に基づき、区分Bについては事業の中止ではなく、着実な実施に向けて、実質単年度収支黒字化3か年計画の改善状況を踏まえながら、令和9年度に実施時期を再検討します。

⑥受益者負担の適正化 取組み件数：10件 約8億4,000万円確保

○使用料・手数料等の受益者負担については、受益と負担の公平性の観点から、他市と均衡のとれた水準とするよう検討を進めます。

⑦歳入確保策の推進 約7,400万円確保

○遊休地の売却、税収増に繋がるような事業の実施等

令和8年度に向けた予算のポイント

●団マークは、県内初の取組み事業

●断マークは、新規取組み事業

●拡マークは、拡大事業

※事業内容の後ろに（）がついているものは、詳細ページあり

予算Point ①

▶ 物価高騰対策として

- 小・中学校給食費の支援 (P16)
- 幼稚園・保育園児等の給食費等の支援 (P17)
- 第3子以降の保育料の完全無償化
- 拡** 農業者に対し農業用資材費の一部を補助 (P28)
- 新** 市営水道料金の一部減免 (P30)

予算Point ③

▶ 未来への投資

- 新焼却施設の整備に向けて (P38)
- 松戸駅周辺地区のまちづくり (P21、P22)
- 北小金駅周辺地区のまちづくり (P23)
- 新松戸駅東側地区のまちづくり (P24)
- 常盤平地区のまちづくり (P25)
- 江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用 (P26)

予算Point ②

▶ 防災・防犯・安全安心対策として

- 避難行動要支援者への支援体制の整備 (P20)
- 新** 太陽光発電システム導入補助金の新設 (P36)
- 新** 八ヶ崎市営住宅の解体を進める (P29)
- 拡** 街頭等への防犯カメラの設置（新設・更新）(P31)
- 八柱駅周辺地区の無電柱化の促進 (P32)
- 松戸駅周辺等の客引き行為等の防止対策の推進 (P33)
- 町会・自治会等のLED防犯灯の更新 (P34)
- 【再掲】安全を守るための仮庁舎移転 (P21)
- 松戸新田地区における内水氾濫対策
- 二十世紀が丘消防署の建設

予算Point ④

▶ 持続可能なまちを支える取組み

- 初** 市役所「デジタル改革」の推進 (P35)
- 初** 介護予防・自立支援の促進 (P18)
- 総合医療センターの経営再建に向けて (P19)
- 拡** 若者の就労支援 (P27)
- 新** 各種証明書のコンビニ交付手数料の10円
キャンペーンの実施、窓口開庁時間の短縮 (P37)

令和8年度組織改編に伴う関連予算について

〇新年度の政策・施策を、実行力をもって着実かつ強力に推進する体制を整えたうえで、予算と一体的な行政運営を進めてまいります。

1. 組織数について

R7 R8 (増 減)

部： 19 ⇒ 20 (1増0減)

課： 123 ⇒ 125 (3増1減)

担当室： 33 ⇒ 30 (2増5減)

2. 新設する組織について

部：(1)教育委員会 みらい教育創造部

- 課：(1)総合政策部 まつどの魅力発信課
- (2)文化スポーツ部 観光推進課
- (3)学校教育部 特別支援教育課

室：(1)財務部 公共施設マネジメント課
(2)文化スポーツ部 文化芸術創造課

管財担当室
文化施設担当室

3. 関連の主な予算について

(単位:千円)

No.	新担当課・室	主な内容	予算額
1	まつどの魅力発信課	○ふるさと納税業務 ○シティプロモーション推進事業 本市の認知向上と本市への愛着を高めるため、ふるさと納税制度を積極的に活用するとともに、各種メディア等を活用して本市の魅力を市内外に向けて発信する。	97,838
2	公共施設マネジメント課	○公共施設再編整備推進事業 ○財産管理事業 ○用地購入事業 公共施設個別施設計画の推進・策定に向けた取組みや公有財産の管理等を行う。	46,344
3	公共施設マネジメント課 管財担当室	○庁舎管理事業 ○車両管理事業 ○共用物品管理事業 現庁舎の管理、共用物品や車両の管理等を包括的に行う。	652,643
4	文化芸術創造課	○文化創造事業 「音楽文化創出事業補助金」による市民や地域団体が主体となる発表の場づくり支援、「ストリートカルチャーエクスペリエンス」や「ラストサマーフェス＆盆踊り」などの継続開催、「クリエイティブラボ」の設置による青少年のデジタル体験機会の提供などを実施するほか、中心市街地における公共空間を活用した民間団体主導のイベント等やエリアマネジメント体制の構築に向けた勉強会等を実施する。	38,350
5	文化芸術創造課 文化施設担当室	○文化施設管理運営事業 文化会館、市民劇場、市民会館、文化ホールの適切な維持管理等を行う。	309,647
6	観光推進課	○観光イベント支援事業 松戸花火大会、松戸まつり、桜まつりの3大まつりを支援するとともに、本市の観光資源を活用した観光PR・啓発を行う。 ○観光促進事業 一般社団法人松戸市観光協会の運営等を補助するとともに、観光協会や市内事業者との連携を図り、学識経験者や専門事業者の知見を得ながら、本市の観光施策の今後の方向性を示す戦略を立案する。	146,431
7	みらい教育創造部 教育総務課	○始業前の児童への見守り業務委託 朝の小1の壁問題に対応するため、昇降口が開く前に登校した児童の見守り業務をおはようキッズセンター（シルバー人材センター会員）が担う。	28,712
8	みらい教育創造部 教育政策推進課	○松戸市新しい学校のあり方基本方針関係経費 適正規模・適正配置を含め、これから魅力ある学校のあり方を検討し、市の全体方針及び常盤平の地区別計画を策定する。 (債務負担行為) R8:11,900千円、R9:10,430千円 総額:22,330千円	11,900
9	みらい教育創造部 学校施設課	○教育情報化推進関係経費 1人1台端末の運用・維持管理など児童生徒の情報活用能力の習得・育成のための学習環境を整備する。 ○小中学校施設施設関係経費 外壁改修、下水道接続改修、受水槽改修工事など、安全で良好な学習環境の維持・充実を図るため、各校のニーズに対応した施設整備を適切に実施する。	3,238,674
10	特別支援教育課	○特別支援教育事業 全ての子どもの可能性を引き出すために、児童生徒一人一人に適した学びの場を決定するための就学相談の場を整えたり、教職員に向けた特別支援教育に関する研修を開催したりするなど、小中学校における特別支援教育の体制を充実させる取り組みを行う。	7,463
合計			4,578,002

令和8年度市長公約に伴う松戸市総合計画との関連予算について Part 1

○市民の皆さんにお約束をした公約を着実に前進させるため、松戸市総合計画に関連する各施策の実施に必要な予算を計上しました。

(市長公約の主な事業)

市長公約		予算化				
1. 命を守る、暮らしを守る松戸市へ	総合計画基本目標	款	担当課	主な内容		予算額 [千円]
1-1 電柱の地中化を進めることで、景観の向上を図るとともに、台風や地震への耐災害性を高めた安全な街づくりを進めます。	5 安全で安心して暮らせるまちづくり	土木費	道路維持課	○八柱駅周辺の無電柱化関係工事 八柱駅周辺地区の無電柱化を進める。電線共同溝整備工事及び既存水道管移設工事費の負担を行う。		232,000
1-2 台風やゲリラ豪雨などの水害に備え、排水設備や河川の整備を進めます。	3 居心地の良い魅力的なまちづくり	農林費	農政課	○矢切排水機場ポンプ改修工事 矢切排水機場の老朽化した排水ポンプの整備補修工事を実施し、大雨発生時の用水路の氾濫による農作物及び周辺住宅への被害を防止する。		42,401
		土木費	下水道整備課	○松戸新田地区における内水氾濫対策 浸水対策として、令和2年度から長津川排水区（松戸新田地区）の雨水管きよ整備を進めている。		1,230,000
1-3 通学路や繁華街を中心に防犯カメラや防犯灯を増やし、明るく安心して歩ける松戸市を作ります。	5 安全で安心して暮らせるまちづくり	土木費	道路維持課	○道路照明灯再LED化事業 ESCO事業を採用し、最新のLED道路照明灯に交換する。 R8年度は照明灯の交換工事を実施し、R9～R18年度は維持管理委託を行う予定。		581,900
1-4 物価高が続く中、特に打撃を受けているのが食料品や生活必需品の価格です。松戸市では、食料品等に使える「暮らし応援クーポン」を配布し、市民の家計を直接支える独自支援策を導入します。	6 人と環境にやさしいまちづくり	商工費	商工振興課	○暮らし応援給付金事業 物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、全市民を対象に、一人当たり3,000円を支給する。		1,882,106

市長公約		予算化				
2. 子どもたちの未来を育む松戸市へ 安心して産み、育て、学べる環境づくり	総合計画基本目標	款	担当課	主な内容		予算額 [千円]
2-1 学校給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。あわせて地元産の新鮮な食材を積極的に活用し、子どもたちの健康と地域経済の両方を支えます。	4 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働くまちづくり	農林費	農政課	○「松戸えだまめ」及び「矢切ねぎ」の小学校への食材提供 松戸市都市農業振興計画における「地産地消の推進」のため、松戸市のブランド農産物である「松戸えだまめ」及び「矢切ねぎ」を市内小学校（各4校）へ提供し、児童の学校給食として活用する。		340
	4 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働くまちづくり	農林費	農政課	○「まつどの梨」PR動画制作等 令和9年3月に横浜市で開催される「国際園芸博覧会」において「二十世紀梨」発祥の地である松戸市及び「まつどの梨」を広くPRし、県内外への「まつどの梨」のさらなる販売促進や観光誘客につなげるため、動画を制作する。		3,975
	1 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり	民生費	保育課 幼稚教育課 健康福祉会館	○幼稚園・保育園児等の給食費等の支援 幼稚園・保育園等に通う3歳～5歳児の児童のうち、給食費等を負担する世帯を対象に、第1子から年間最大12,000円を支援する。（予算額は、一般財源額）		112,168
	1 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり	教育費	学校給食担当室	○学校給食費の支援 国の支援をもとに、小学校の給食費全額を無償化する。中学校の給食費は第1子・第2子に年間最大11,000円相当額を減額し、第3子以降は全額を無償化する。併せて、小中学校とともに、弁当持参者等にも同様の支援を行う。（予算額は、一般財源額）		269,355
2-2 「松戸には、子どもと安心して遊べる場所がない」という声に応え、船橋のアンデルセン公園のような、自然体験型レジャー施設を整備します。市外に出づとも家族で楽しめる場所を松戸に作ります。	3 居心地の良い魅力的なまちづくり	土木費	常盤平駅周辺まちづくり推進課	○常盤平駅周辺公園再整備等検討業務 「21世紀の森と広場」等のパークPFI導入の検討を開始する。		26,000

令和8年度市長公約に伴う松戸市総合計画との関連予算について Part 2

(市長公約の主な事業)

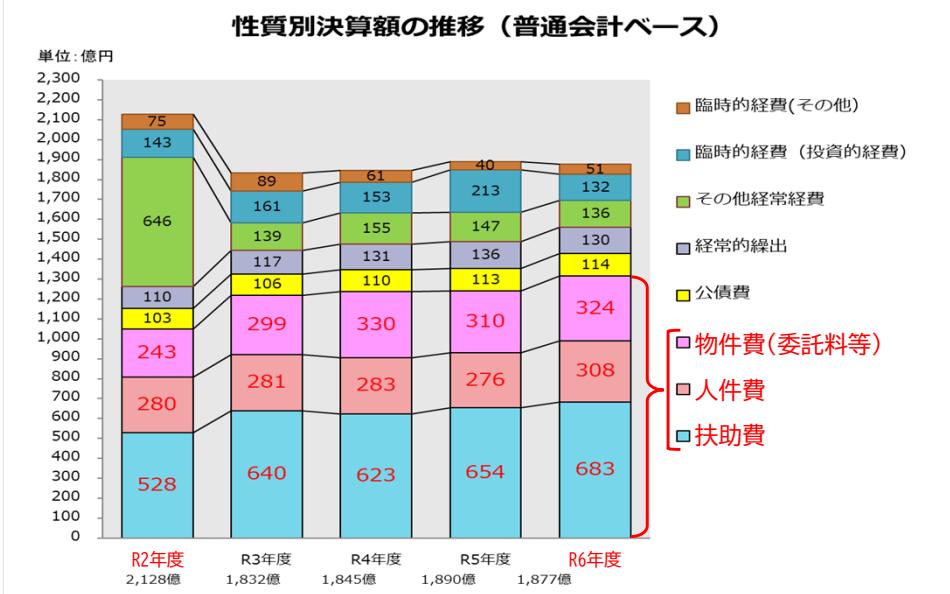
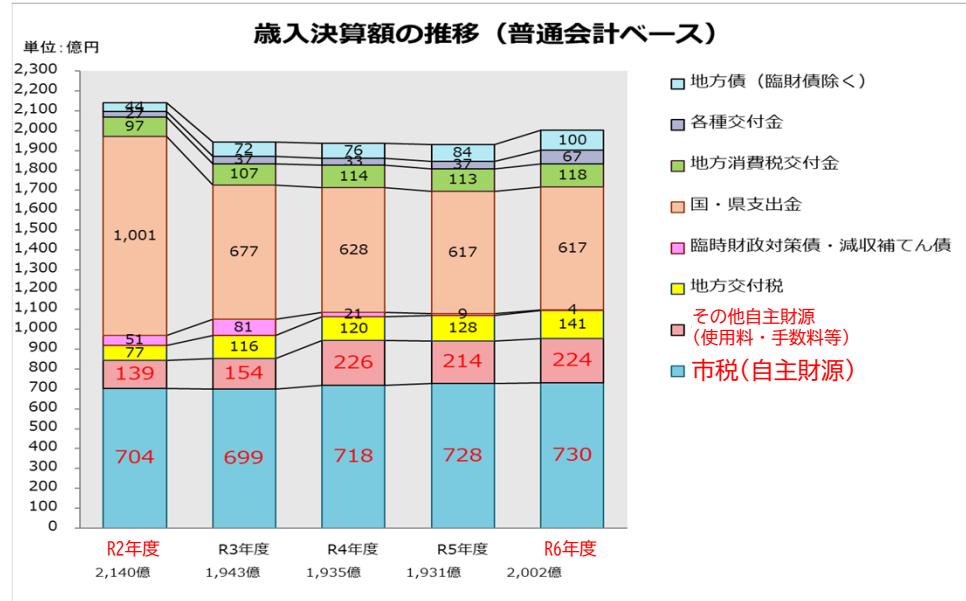
市長公約		予算化				
3. 子どもから高齢者まで、みんながイキイキと暮らせる松戸市へ	総合計画基本目標	款	担当課	主な内容		予算額[千円]
3-1 年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できるスポーツイベントや活動を支援し、スポーツを通じた交流と地域づくりを推進します。	1 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり	総務費	スポーツ振興課	○市民参加型のスポーツ体験教室や大会、イベント等の実施 多くの市民がスポーツに親しめるよう市民参加型の体験教室等を開催する。		1,160
3-2 介護サービスの質と量の確保に取り組み、ご高齢の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制を整えます。	2 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり	介護保険特別会計	高齢者支援課	○介護予防ケアマネジメント支援ICT 可逆性のある軽度者に対して、ICT導入と併走型支援にて、自立支援型介護予防マネジメントの質の向上と生産性の向上を図り、総合事業（特に通所C）の再構築をしながら、生活機能改善による再自立・重度化防止を図るとともに、継続的な介護予防・活動につなげる。		21,912
3-3 子ども食堂や高齢者サロンなど、誰もが立ち寄れる居場所を地域に広げるため、こうした取り組みを支えている方々への支援を強化し、孤立の防止と世代を超えた交流を促進します。	1 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり	民生費	子ども居場所課	○子ども食堂新規開設・運営支援補助金 支援が必要な子どもやその地域とのつながる場である子ども食堂を運営する団体への補助を行う。		9,768

市長公約		予算化				
4. 文化と産業が息づく松戸市へ —松戸ならではの魅力を、稼ぐ力と誇りに変える—	総合計画基本目標	款	担当課	主な内容		予算額[千円]
4-1 矢切の渡しや旧水戸街道、戸定邸、江戸川、小金宿など、地域に息づく風景や史跡を磨き直し、市民の誇りとなる観光資源として活用します。	3 居心地の良い魅力的なまちづくり	土木費	河川清流課	○江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用 江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間活用の検討を開始する。かわまちづくり協議会を設置し、地元住民や関係団体の意見聴取を行う。また、社会実証実験等を行なながらかわまちづくり計画の策定を行う。		7,483
4-2 松戸市内の中小企業や商店街を対象に、経営力の強化や設備投資、デジタル対応など幅広い支援を行い、地域経済を支える元気な企業を増やします。	4 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働くまちづくり	労働費 商工費	商工振興課	○まつどキャリアサポートデスク、松戸スタートアップオフィス、松戸ビジネスサポートセンター、まつど創業塾関係経費 本市での就職や起業等を希望している方々に対し、相談支援体制を整備する。		72,099
4-3 常盤平団地とその周辺地域の再生を促進し、常盤平地域の活性化を図ります。こうした取り組みを、市内全域へと広げてまいります。	3 居心地の良い魅力的なまちづくり	土木費	常盤平駅周辺まちづくり推進課	○常盤平地区のまちづくり検討業務 地元住民やUR都市機構とともに、まちの再生に向けた検討を進める。 ○常盤平駅周辺まちづくり気運醸成業務 実証実験を通じた公共空間の利活用や地域に求められる機能などについて意見収集を行い、次期「まちづくり計画」へ反映する。		24,800 24,000

市長公約		予算化				
5. 松戸市を変える行政・財政改革	総合計画基本目標	款	担当課	主な内容		予算額[千円]
5-1 現在進められている市役所移転計画を白紙撤回し、デジタル時代にふさわしい、コンパクトで機能的な新庁舎のあり方を見直します。	5 安全で安心して暮らせるまちづくり	総務費	新庁舎整備課	○新庁舎の整備推進 新庁舎の建て替え場所の決定と、費用縮減を意識した整備検討を行う。 耐震性が不足する現本館・新館について、仮庁舎に移転する。		686,265
5-2 クリーンセンターなど生活に直結するインフラの整備・更新を最優先とし、問題の先送りを許しません。	6 人と環境にやさしいまちづくり	衛生費	清掃施設整備課	○新焼却施設建設の推進 懸案事項であった新焼却施設について、迅速な意思決定により整備を本確定に進める。 現在、和名ヶ谷クリーンセンターは平成7年から稼働しており、すでに約30年が経過していることから、今後も可燃ごみなどを安定的かつ効率的に処理していくため、旧クリーンセンター用地に新たな焼却施設を整備する。		95,980
5-3 スマートフォンひとつで申請・相談が完結できる市役所にします。徹底したデジタル改革を進め、住民にも職員にも優しい市役所を目指します。	6 人と環境にやさしいまちづくり	総務費	デジタル戦略課	○スマートフォンで完結するデジタル市役所 様々なシステム等を一つの画面で案内する「デジタルまつどポータル」や問い合わせに幅広く答える「生成AIチャットボット」の導入、松戸市版メタバース「メタまーつ」の機能拡充、さらに「手続き案内ナビゲーション」「オンライン申請システム」「オンライン相談システム」の活用を進め、デジタル市役所を推進する。		44,803

本市が抱える構造的な課題について

○自主財源である市税については、ここ数年で一定程度伸びているものの、扶助費、人件費、物件費(委託料等)といった経常的経費の伸びがそれを大きく上回っており、財政運営上の構造的な課題となっています。特に、高齢化の進展等に伴い扶助費が堅調に増加している状況です。



○自主財源である市税については、令和2年度⇒令和6年度を比較して26億円 3.7%増(704億円⇒730億円)

○扶助費・人件費・物件費(委託料等)については、令和2年度⇒令和6年度を比較して264億円 25.1%増(1,051億円⇒1,315億円)

伸びる歳出を踏まえた今後の財政戦略～課題に迅速に対応する「スピード感」～

- ①扶助費 ⇒増加要因を整理したうえで、安定的に支援を受けられる体制を整えます。
- ②人件費 ⇒人事院勧告の影響により人件費が増加していることから、週休三日制の導入や窓口開庁時間の短縮などにより、働き方改革を推進しつつ、適正な人員配置を行います。
- ③物件費 (委託料等) ⇒物価上昇などにより委託料等が増加していることから、必要なサービスは確保したうえで、事業内容・仕様内容等の見直しを行います。
- ④市民ニーズや社会環境の変化を踏まえ、当初の目的や役割を一定程度を終えた事業等については最適化・効率化を進めます。
- ⑤総合医療センターの経営再建に向けた取組みを引き続き進めます。
- ⑥集中している大型事業の着実な実施に向けて、実施時期の最適化を図ってまいります。
- ⑦市有地の有効活用として、遊休地の売却やネーミングライツ制度の導入など、公有財産を積極的に活用します。
- ⑧受益者負担については、他市と均衡のとれた水準となるよう検討するとともに、国民健康保険料金の適正化等を進めます。etc.

本市ではこうした構造的な課題に対して、スピード感をもって計画的かつ戦略的に取組んでまいります。

令和8年度から市長を中心とした「未来を見据えた財政戦略会議」を立ち上げ、未来への投資と財政の健全性の両立を図ってまいります。

- ①類似団体との比較分析により本市の事業水準等を把握 ②社会保障関係経費の増加など、構造的要因が財政に与える影響を分析
③分析結果を踏まえ事業の整理など、未来への投資と財政健全性の両立を図るための施策を展開



令和8年度 松戸市当初予算案 重点事業の概要



当初予算案 重点事業

①～⑥は松戸市総合計画の基本目標の項目
 (団については、県内初の取り組み事業を含む項目)

※事業内容の後ろの（）は、詳細ページとなる。

基本目標1 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり (子育て・教育・文化・スポーツに関する予算)		令和8年度予算額 ※()は一般財源額
新規	(1) 市民参加型スポーツ体験教室等の実施 (P15)	116万円
	(2) 小・中学校給食費の支援 (P16)	(2億6,935万5千円)
	(3) 幼稚園・保育園児等の給食費等の支援 (P17)	(1億1,216万8千円)

基本目標2 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり (高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生に関する予算)		令和8年度 予算額
新規	(1) 初 介護予防・自立支援の促進 (P18)	2,537万8千円
	(2) 総合医療センターの経営再建に向けて (P19)	—
	(3) 避難行動要支援者への支援体制の整備 (P20)	685万5千円

基本目標3 居心地の良い魅力的なまちづくり (まちの再生・リニューアルに関する予算)		令和8年度 予算額
	(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり ① 松戸駅周辺地域活性化、新拠点ゾーン整備、新庁舎整備 (P21) ② 松戸駅改良工事に伴う駅周辺整備 (P22)	7億8,082万9千円 5億4,067万6千円
	(2) 北小金駅周辺地区のまちづくり (P23)	10億9,720万円
	(3) 新松戸駅東側地区のまちづくり (P24)	8億1,728万4千円
	(4) 常盤平地区のまちづくり (P25)	7,480万円
	(5) 江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用 (P26)	748万3千円

当初予算案 重点事業

①～⑥は松戸市総合計画の基本目標の項目
 (団については、県内初の取り組み事業を含む項目)

※事業内容の後ろの（）は、詳細ページとなる。

基本目標4 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働くまちづくり (雇用創出・経済活性化に関する予算)		令和8年度 予算額
拡充	(1) 若者の就労支援 (P27)	2,556万7千円
拡充	(2) 農業者に対し農業用資材費の一部を補助 (P28)	2,000万円

基本目標5 安全で安心して暮らせるまちづくり (防災・防犯・安全安心に関する予算)		令和8年度 予算額
新規	(1) 八ヶ崎市営住宅の解体を進める (P29)	1億1,435万3千円
新規	(2) 市営水道料金の一部減免 (P30)	9,409万6千円
拡充	(3) 街頭等への防犯カメラの設置（新設・更新） (P31)	6,133万4千円
	(4) 八柱駅周辺地区の無電柱化の促進 (P32)	2億3,200万円
	(5) 松戸駅周辺等の客引き行為等の防止対策の推進 (P33)	4,867万1千円
	(6) 町会・自治会等のLED防犯灯の更新 (P34)	0円

基本目標6 人と環境にやさしいまちづくり (デジタル化・行財政改革・未来共創・魅力発信・環境に関する予算)		令和8年度 予算額
新規	(1) 初 市役所「デジタル改革」の推進 (P35)	5,744万4千円
新規	(2) 太陽光発電システム導入補助金の新設 (P36)	498万円
	(3) 各種証明書のコンビニ交付手数料の10円キャンペーンの実施 (P37)	256万6千円
	(4) 新焼却施設の整備に向けて (P38)	9,598万円

①子育て・教育・文化・スポーツに関する予算
(1) 市民参加型スポーツ体験教室等の実施 新規

令和8年度予算額： 116万円

市民がスポーツに親しめるよう市民参加型のスポーツ体験教室や大会、イベントを行う
“市民スポーツ推進プロジェクト”を開始します

(スポーツ振興課 ☎047-703-0601)

●事業目的

市とスポーツ団体や企業等が連携し、市民が体を動かす楽しさを実感することにより、**スポーツを始めるきっかけ**を提供する。

●事業内容

スポーツ教室や大会、イベント等を年間12回開催予定

①市主催型…市が企画し、スポーツ団体等に運営を依頼

②共催型 …実施主体はスポーツ団体等であり、市は費用負担せず、会場確保や広報協力等の支援を行う。

- ・連携先：プロスポーツチーム、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、競技団体、民間企業等
- ・実施競技：バスケットボール、サッカー、スケートボード等

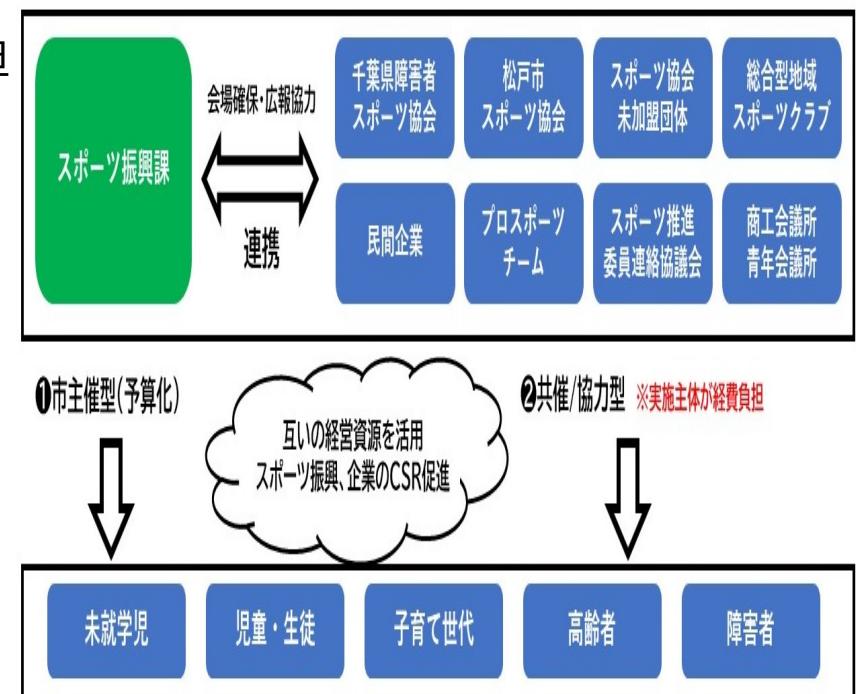
●参加対象 市民（未就学児、児童・生徒、子育て世代、高齢者、障がい者等すべての市民）

●費用 参加費用無料

●期待する効果

- ✓ 市民が**スポーツを見る」「触れる」機会を増やす**
- ✓ 市民が**スポーツを始めるきっかけづくりや、体を動かす楽しさを感じもらう**
- ✓ 市民の**スポーツ実施率の向上**

●事業スキーム図



①子育て・教育・文化・スポーツに関する予算
(2) 小・中学校給食費の支援

令和8年度予算額：2億6,935万5千円
(一般財源額)

小・中学校給食費の支援

(アレルギー等児童生徒への弁当代補助、長期欠席者への支援を含む)

(学校給食担当室 ☎047-366-7463)

【支援内容】 保護者の負担軽減を図るため、市立小・中学校に通う児童生徒の学校給食費に対し支援を行う。
(弁当持参者、長期欠席者への支援を含む)

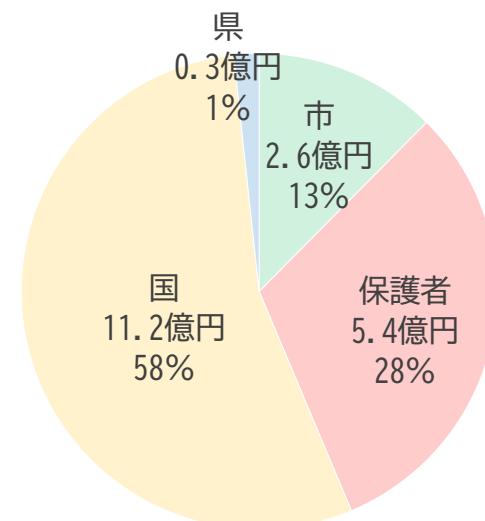
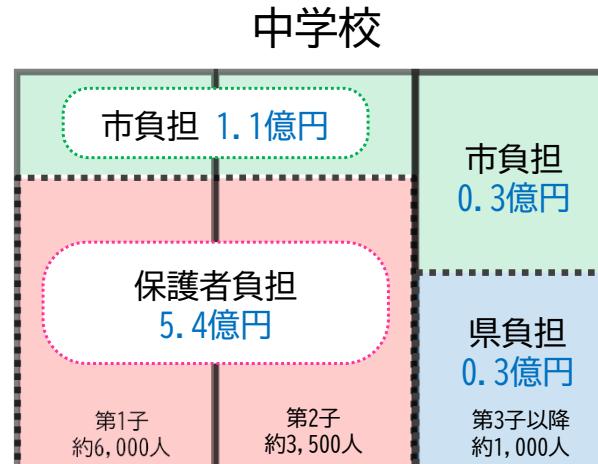
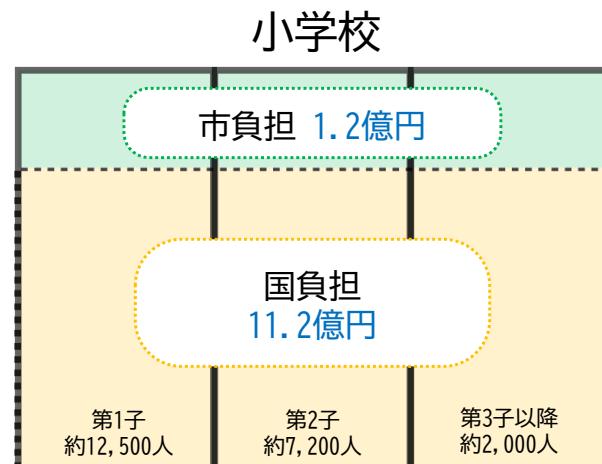
小学校……全員全額無償化

中学校……第1子・第2子：年間最大11,000円相当額を減額
第3子以降：全額無償化

【対象者】 市立小・中学校に在籍している児童生徒（小学生：約21,700人、中学生：約10,500人）

【予算額】 一般財源額：2億6,935万5千円

負担内訳



①子育て・教育・文化・スポーツに関する予算
(3) 幼稚園・保育園児等の給食費等の支援

令和8年度予算額：1億1,216万8千円
(一般財源額)

幼稚園児・保育園児等の給食費等の支援
(※R8のみ)

(保育課) 047-366-7351
(幼児教育課) 047-701-5126
(健康福祉会館) 047-383-0022

【支援内容】 幼稚園・保育園等に通う3歳～5歳児の児童のうち、給食費等を負担する世帯を対象に、
第1子から年間最大12,000円を支援する。
(ただし、既存の低所得世帯や多子世帯向けの減免制度により給食費等が無償となる児童を除く)

【対象人数】 9,192人

【予算額】 一般財源額 : 1億1,216万8千円

(内訳)

対象施設	区分	対象人数	予算額	担当課
公立保育所	減免	1,110名	(歳入) ▲13,320千円	保育課
民間保育園、認定こども園（2号認定）	補助	2,834名	(歳出) 33,997千円	保育課保育運営担当室
幼稚園、認定こども園（1号認定）等	補助	5,050名	(歳出) 62,475千円	幼児教育課
認可外保育施設（県指導監督基準を満たす施設）	補助	118名	(歳出) 1,416千円	保育課入所入園担当室
こども発達センター	減免	80名	(歳入) ▲960千円	健康福祉会館

(歳入計) ▲14,280千円 (歳出計) 97,888千円

②高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生に関する予算

(1) 介護予防・自立支援の促進

※県内初の取組み事業

新規

令和8年度予算額：2,537万8千円

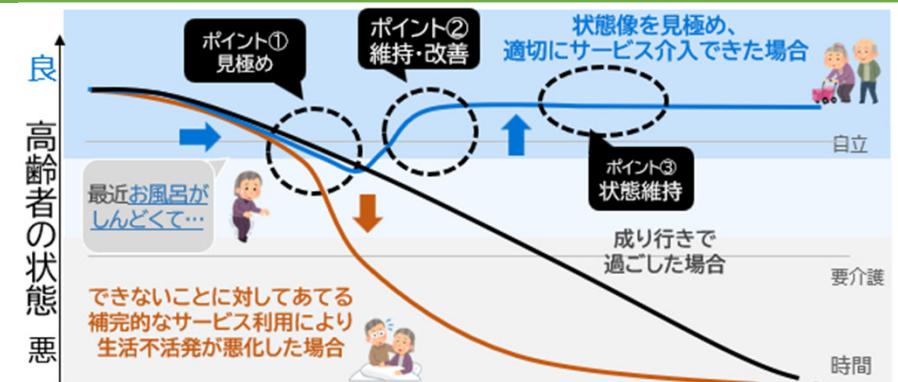
介護予防ケアマネジメント支援システムの導入および短期集中予防サービスの強化・充実による軽度者の再自立と重度化防止を目指します
(高齢者支援課 ☎047-366-7346)

1 課題と目的

- 高齢者が増加する中、介護サービスのニーズが多様化・高度化
- 介護予防・自立支援に対応する専門職の確保・育成
- 軽度者の半数は“生活不活発”による活動性低下が原因と言われている→適切なサービス介入により生活機能の改善が期待できる

目的：介護予防ケアマネジメントの質を高め、軽度者の自立と重度化防止を一層強化する。

生活不活発者のその後の過ごし方・介入による予後の違い



2 業務内容

①ICTを活用したケアマネジメント支援システムの導入

生活状況や本人の価値観、意向等を見る化

②通所C型「短期集中予防サービス」の強化・充実

自立支援プログラムによるリエイブルメント(※)の実施

※リエイブルメントとは「再びできるようになる」という意味で、本事業では、住み慣れた地域で自分らしく、本人の望む生活が続けられるようになりますを目標にします

対象：要支援または総合事業特定者

期間：原則週1回3か月

内容：理学療法士等の専門職による面談、機能改善プログラム
家庭での生活の仕方・改善についての支援等

状態に応じて、運動・栄養・
口腔等のプログラムを実施

理学療法士等専門職による支援

機能改善プログラム

社会参加に向けた支援

プログラム修了後は、元の生活にもどることを目標にします。



実施期間:3か月
動機付け
機能改善プログラム
セルフケアの定着支援

専門職による支援



3か月後
地域の活動など、
役割や社会参加に向けた支援

骨折をきっかけにあきらめていましたが、以前
通っていたコースに行けるようになりました！

「できなくなつてからの介護」から
「できるを伸ばす」支援へ

②高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生に関する予算 (2) 総合医療センターの経営再建に向けて

令和8年度予算額
市立総合医療センター事業収益
：236億8,201万2千円
市立総合医療センター事業費用
：263億8,334万2千円

総合医療センターの経営再建に向けた取り組みの推進

(病院政策課) ☎047-712-2605
(政策推進課) ☎047-366-7072
(健康医療政策課) ☎047-704-0055

1 新しい経営計画の策定 (R8.3予定)

「経営再建プロジェクトチーム」を中心に、総合医療センターの構造的な課題を把握し、**抜本的な経営再建につながる実現性の高い経営計画(R8~R11)**を策定、確実な達成に努めます。

2 計画期間中の主な取組み（概要）

〈収益の向上〉

- 病床数の適正化(520~540床)による病床稼働率や入院単価の向上
- 既存棟の有効活用による手術件数の増加

〈費用の抑制〉

- 病床数の適正化に合わせた段階的な職員数の削減と給与制度の見直しによる人件費の抑制
- 診療材料費、医療機器購入費、委託料など、経費の削減・抑制

〈医療圏内自治体との連携〉

- 地域に必要な医療を圏域全体で支える仕組みの構築

令和8年度松戸市病院事業当初予算の概要

《収益的収入・支出》

	令和6年度決算	令和7年度見込	令和8年度予算
医業収益	194億9,975万6千円	206億2,512万6千円	211億7,136万6千円
(一日平均入院患者数)	469人	489人	489人
(病床稼働率)	83.5%	86.1%	87.5%
医業費用	249億3,020万1千円	255億9,050万9千円	252億8,692万円
(職員数)	1,153人	1,147人	1,110人
(給与費比率)	70.8%	68.1%	64.2%
(材料費比率)	29.6%	30.1%	29.3%
医業損失（▲）	54億3,044万5千円	49億6,538万3千円	41億1,555万4千円
経常損失（▲）	41億1,583万8千円	31億8,685万4千円	26億7,130万8千円
【一般会計繰入金】	25億6,600万円	25億円	25億円

※一般会計繰入金については、当初予算にて25億円とし
診療報酬改定の効果を見極めながら15億円程度増額を検討

政策医療（小児・周産期、三次救急等）をはじめとした
地域に必要な医療を守るために、持続的・安定的な経営を実現します

②高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生に関する予算

(3) 避難行動要支援者への支援体制の整備

令和8年度予算額：685万5千円

避難行動要支援者名簿の作成・更新・利用促進及び個別避難計画を作成し、災害時に地域で避難行動要支援者の避難を支援する体制を整備します
(福祉政策課 ☎047-701-5272)

1 避難行動要支援者名簿

システム賃貸借料等：117万8千円

避難行動要支援者名簿とは？

災害が発生したときに、高齢の方や障害をお持ちの方（避難行動要支援者）で一人で避難することが困難な方に、ご本人の希望に基づき、あらかじめ市の名簿に登録いただくものです。登録した情報は、災害時等に地域の中で速やかに避難や安否確認等が行われるよう、平時から町会・自治会など避難を支援する方の間で共有します。

避難行動要支援者名簿への登録要件

※施設に入所されている方は対象となりません。

- ・要介護認定者の方（要介護3・4・5）
- ・障害のある方（身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aのいずれかをお持ちの方）
- ・その他支援の必要な方（難病患者、高齢者のみの世帯等）

2 個別避難計画

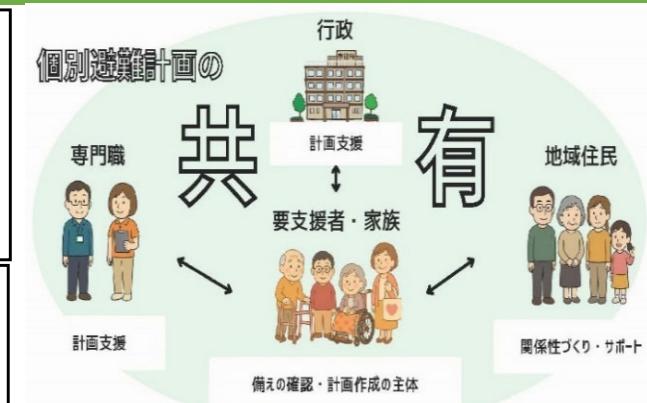
委託料等：567万7千円

個別避難計画とは？

避難に支援が必要な方一人ひとりに合わせた、災害時の「どこへ」「誰と」「どのように」などの避難行動や支援に関する計画のことです。本人や家族で災害時の避難方法や配慮が必要なことをあらかじめ考え、地域の方々や支援者と共有することで、災害時にとるべき行動や必要な支援をイメージすることができます。

個別避難計画の作成対象者

本人や家族だけでは避難することが難しい、高齢や障害などの理由による配慮が必要な方のうち、松戸市避難行動要支援者名簿に登録している方。



③まちの再生・リニューアルに関する予算

(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり

① 松戸駅周辺地域活性化、新拠点ゾーン整備、新庁舎整備

令和8年度予算額：7億8,082万9千円

松戸駅周辺のまちづくりを推進します

(松戸駅周辺整備振興課 ☎047-366-7086)
(新拠点ゾーン整備担当室 ☎047-710-0699)

◆ 松戸駅周辺地域活性化事業 2,500万円

官民連携のまちづくりを目指し、「中心市街地活性化エリアマネジメントにぎわい創出運営委員会」等の既存の取組み等と連携しながらエリアプラットフォーム構築の準備を行います。また、春雨橋親水エリアにおいて実施している「坂川ながるるプロジェクト」については、これまで構築した仕組みを、持続的に運営するための基盤づくりを行います。

- ・松戸駅周辺エリアプラットフォーム構築支援委託料
1,000万円
 - ・春雨橋親水エリア運営振興実証委託料
(坂川ながるるプロジェクト) 1,500万円



◆新拠点ゾーンの整備 2,434万円

歩行者の安全対策のため、周辺道路の歩道にガードパイプを設置する工事等を行います。

- ・まちづくり基本構想推進業務 1,427万6千円
主2-68号安全対策工事・管理用地における
維持管理業務
 - ・相模台地区土地区画整理事業
(特別会計) 1,006万4千円
管理用地における維持管理業務等

新庁舎の整備を推進します

(新庁舎整備課 ☎047-701-8611)

◆ 仮庁舎移転関係経費 6億8,626万5千円

新庁舎の整備には相応の期間を要しますが、その間、耐震性が不足する現本館・新館については、市民や職員の安全を守るため、令和9年3月末までに仮庁舎に移転します。

- ・仮庁舎施設に係る諸経費（光熱水費、内装監理費等） 2,135万9千円
 - ・仮庁舎施設に係る賃借料及び共益費等 4億7,625万6千円
 - ・仮庁舎施設等移転業務委託 1億8,865万円

◆ 旧松戸法務総合庁舎他解体工事【第2期】

(継続費:R8~R9) 4,522万4千円



③まちの再生・リニューアルに関する予算

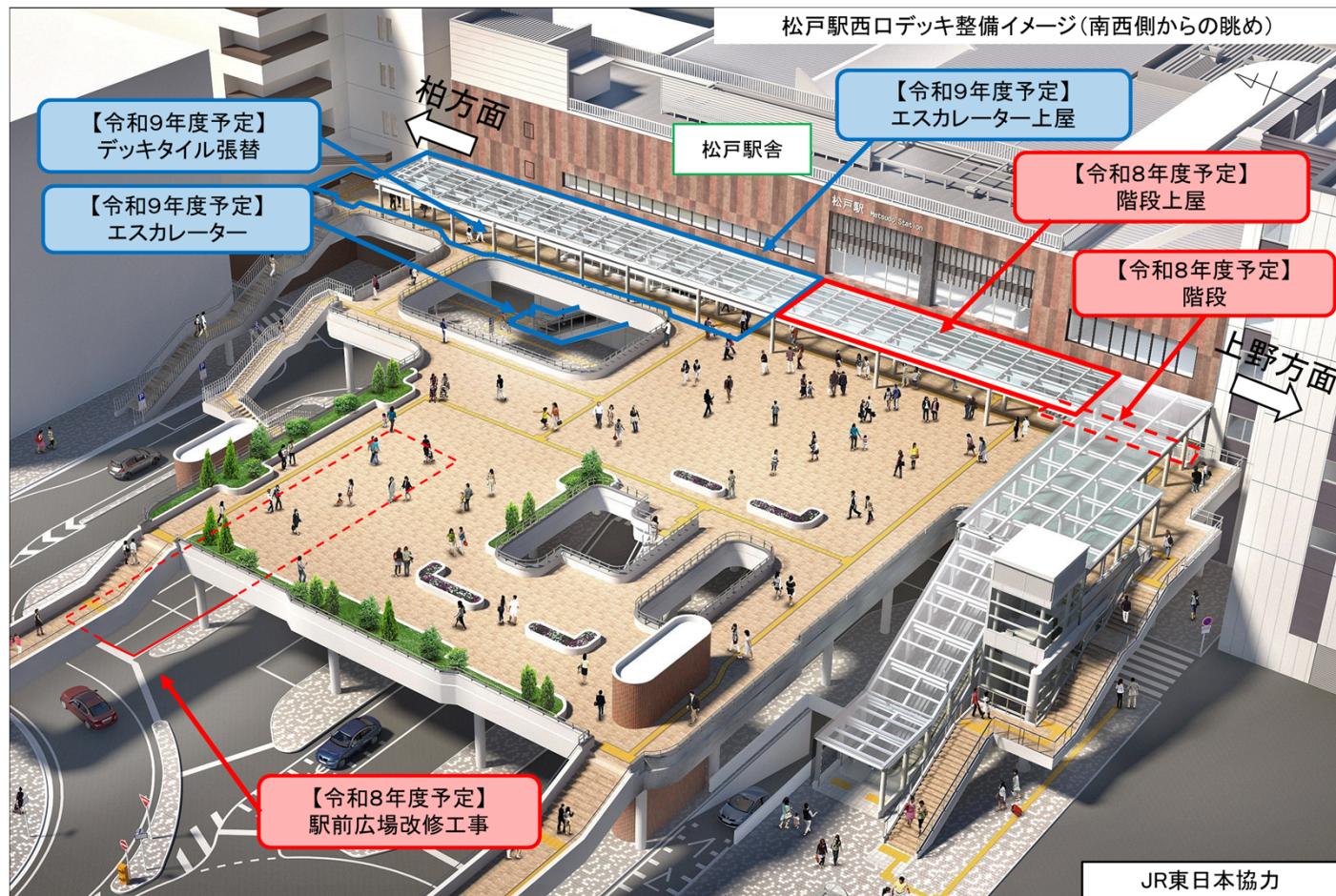
(1) 松戸駅周辺地区のまちづくり

②松戸駅改良工事に伴う駅周辺整備

令和8年度予算額：5億4,067万6千円

松戸駅改良工事に伴う駅周辺整備業務

(街づくり課 ☎047-366-7376)



松戸駅西口において、JR東日本及び京成電鉄の松戸駅改良工事に伴い、デッキ及び駅前広場の改良工事を実施しております。

令和7年度から令和9年度にかけて、新設エスカレーター、新設階段等の整備及び関連工事を進めており、令和8年度においては、新設階段の施工が主な工事となります。

松戸駅周辺施設等整備事業

(継続費：令和8年度分)

松戸駅西口デッキ改良工事及び
工事監理 3億4,617万6千円

松戸駅周辺施設等整備事業

松戸駅西口駅前広場改修工事及び
基礎工事負担金等 1億9,450万円

③まちの再生・リニューアルに関する予算
(2) 北小金駅周辺地区のまちづくり

令和8年度予算額：10億9,720万円

北小金駅周辺地区の整備を進めます

(街づくり課 ☎047-366-7376)

① 北小金駅南口東地区市街地再開発事業

防災性・安全性の向上、まちの快適さ・暮らしやすさの向上を図るため、北小金駅南口東地区市街地再開発組合により市街地再開発事業が進められています。

令和8年度は、同組合が施設建築物の建設工事に着手することから、これを補助します。

●市街地再開発事業補助金及び公共施設管理者負担金

10億6,620万円

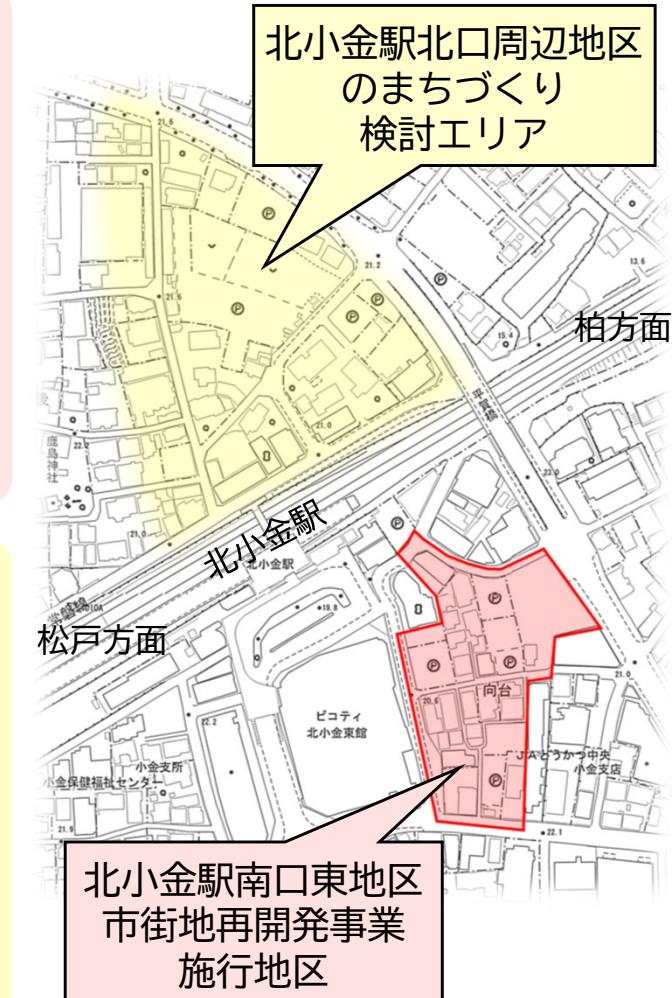
② 北小金駅北口周辺地区のまちづくり関連事業

駅前の狭い道路や歩行者の安全性などの改善や交通利便性の向上を図るとともに、土地の健全な高度利用の促進とあわせて、参道入口にふさわしいまちづくりを目指します。

令和8年度は、地権者の合意形成や公共施設の整備にあたり交通量などの必要な調査を実施するものです。

●合意形成支援等検討委託・公共施設配置検討等委託

3,100万円



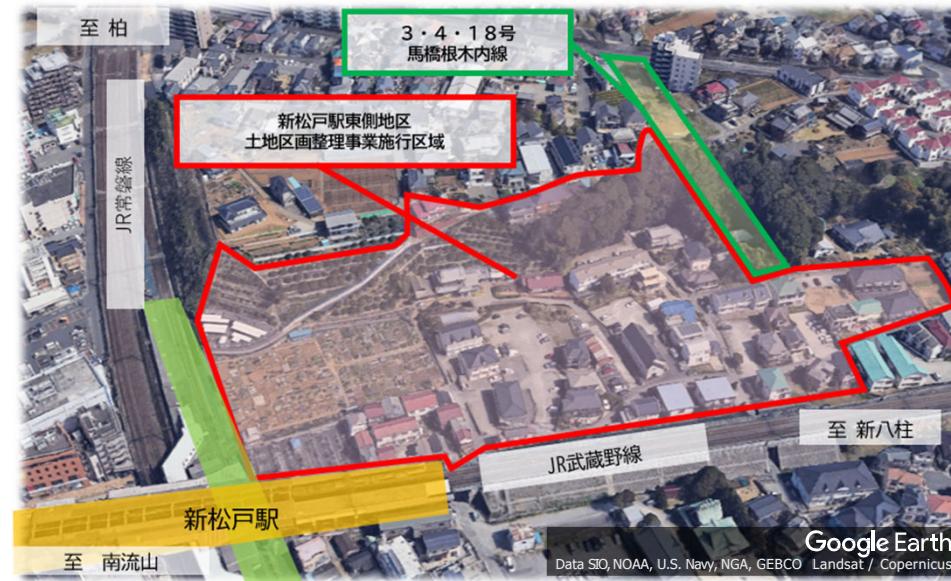
③まちの再生・リニューアルに関する予算
(3) 新松戸駅東側地区のまちづくり

令和8年度予算額：8億1,728万4千円

新松戸駅東側のまちづくりを推進します

(区画整理課 ☎047-366-7375)

新松戸駅東側地区における健全な市街地の形成と地区の課題である狭い道路の解消、駅前広場や下水道・斜面緑地の整備などを目的として、地域の皆様と共に土地区画整理事業を推進するため、必要な補償契約や設計、工事等を行います。



●新松戸駅東側地区土地区画整理事業（特別会計）

土地区画整理整備業務（移転補償費他） 8億550万3千円

土地区画整理基盤整備事業（土木工事・工事監理） 1,178万1千円

※継続費：令和8年度～14年度 全体事業費52億3,320万円（うち8年度 工事監理 1,178万1千円）

③まちの再生・リニューアルに関する予算 (4) 常盤平地区のまちづくり

令和8年度予算額：7,480万円

常盤平地区のまちづくりを推進します

(常盤平駅周辺まちづくり推進課 ☎047-710-5523)

令和7年2月に策定した「常盤平地域のまちづくり方針」に基づき、地元住民やUR都市機構とともに、まちの再生に向けた検討を進めます。

まちづくりへの気運醸成を図るため、実証実験を通じた公共空間の利活用や地域に求められる機能などについて意見収集を行い、次期「まちづくり計画」へ反映していきます。

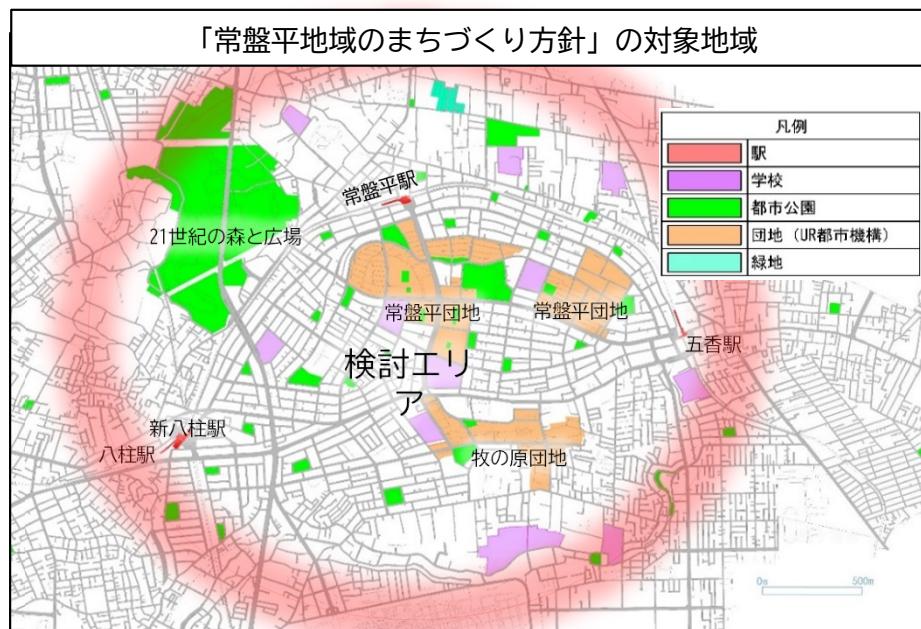
「21世紀の森と広場」及び常盤平駅周辺の公園において、パークPFI導入に向け、条件の整理に取り組みます。

●常盤平地域まちづくり関連経費 7,480万円

- ・まちづくり検討業務
- ・公園再整備等検討業務
- ・気運醸成業務

気運醸成業務の一環として、令和7年度から
「常盤平SONOプロジェクト」が始動

実証実験の様子
(ときわだいらクリスマスガーデン)



はじめて、
常盤平 SONOプロジェクトです

目的：常盤平駅周辺地域の再生に向け、
様々な活動やイベントを通じ、
まちづくりの気運醸成を図ること



（けやき通りでの出店、作品展示）



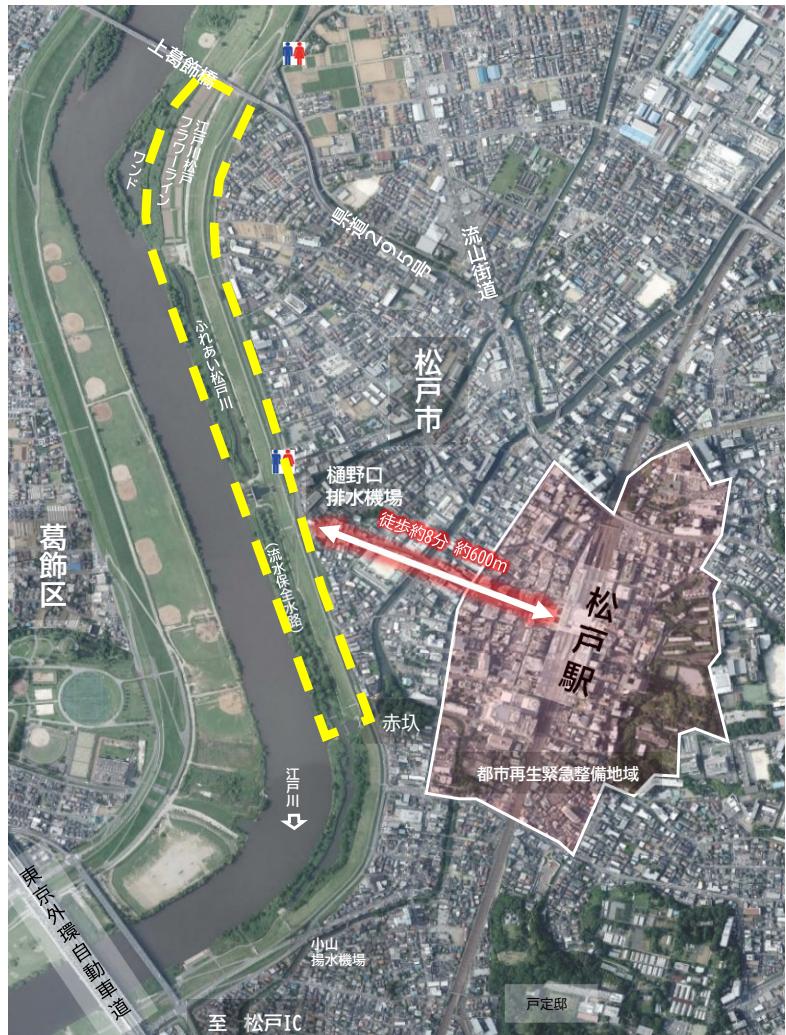
（アンケートを行っているところ）

③まちの再生・リニューアルに関する予算
(5) 江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用

令和8年度予算額：748万3千円

かわまちづくり計画策定に向けて、協議会を設立し、社会実験を実施します

(河川清流課 ☎047-366-7359)



市内の河川水を金町浄水場の取水口下流にバイパスする目的で整備された「ふれあい松戸川」は、整備から約30年が経過し、豊かな生態系が形成されております。

この生態系の保全を基本としつつ、憩いや安らぎを提供する良好な河川空間の形成を行うため、「かわまちづくり支援制度」を活用し、江戸川河川敷およびふれあい松戸川の有効活用を図ることを目標とします。

※かわまちづくり支援制度：「河川空間とまち空間が融合し、賑わいあるまちづくりによる地域活性化に資する良好な空間形成を目指す取組」を河川管理者が支援（ハード支援及びソフト支援）する制度

令和8年度より協議会を設立し、河川敷の活用方法について、地元、関係団体、学識経験者等と検討していきます。

また、協議会の意見を聞きながら社会実験を行い、効果、周囲への影響等を検証し、かわまちづくり計画の策定に反映させていきます。

【令和7年度ワークショップ開催】



④雇用創出・経済活性化に関する予算

(1) 若者の就労支援 拡充

令和8年度予算額：2,556万7千円

若者をはじめとした多様な世代の就労を支援します

(商工振興課 ☎047-711-6377)

まつどキャリアサポートデスク

拡充

地域若者サポートステーションの対象外の世代（15～49歳の20時間以上の非正規就労者、50～55歳の無業者・20時間以上の非正規就労者）に対し、相談支援からジョブトレーニング、就職、その後の定着まで一貫して伴走的支援をすることにより、切れ目のない支援を行う。

項目	現行	令和8年度
営業日	週3日(火・木・土)	<u>週6日(月～土)</u>
営業時間	10時～16時	<u>9時半～17時</u>
対象者	市内在住・在勤	市内在住・在勤・ <u>松戸市での就職を目指す者</u>
定員	30名	<u>40名</u>
定着支援	無	<u>有</u>

まつど地域若者サポートステーション (まつどサポステ)

継続

15～49歳の無業者に対して相談支援からジョブトレーニング、就職その後の定着まで一貫して伴走支援することにより、安定的な就労を目指す。まつど地域若者サポートステーションを利用して非正規で就職→まつどキャリアサポートデスクで正規就労を目指すといったステップアップ的な利用が可能。

対象区分一覧

目的	年齢	15～49歳	50～55歳
無業→非正規(週20時間以上)・正規		サポステ	キャリアサポートデスク
非正規(週20時間以上) →正規		キャリアサポートデスク	キャリアサポートデスク

※非正規とは、パートタイマー・アルバイト・派遣労働・契約社員など

④雇用創出・経済活性化に関する予算

(2) 農業者に対し農業用資材費の一部を補助

[拡充]

令和8年度予算額：2,000万円

農業用資材費補助金の補助対象として「**荷造運賃手数料**」を追加し、農業者を応援します

(農政課 ☎047-366-7328)

●目的 農業資材等の高騰の影響を受ける農業者の負担軽減と市民生活に欠かせない野菜の価格安定のため、生産段階における補助に加え、出荷に係る「**荷造運賃手数料**」への支援を行うことにより、さらなる農業経営の安定及び発展を図る。

●対象 (1)市内に住所があり、かつ市内において農業を営んでいる農業者
(2)対象期間（令和7年1月～12月）の農産物年間販売額が50万円以上の農業者

●補助内容 (1)「**種苗費**」「**動力光熱費**」（生産）に係る経費の一部を補助
・**種苗費**：野菜・花の種子、種芋、野菜・果樹・花きの苗木など
・**動力光熱費**：農業に係る電気料、水道料、ガス・灯油代、農機具の燃料など

※ **種苗費**に関する補助は令和5年度、**動力光熱費**は令和7年度から実施。

[拡充]

(2)「**荷造運賃手数料**」（出荷）に係る経費の一部を補助
・**荷造運賃手数料**：出荷に使用する段ボール等の包装費用、運賃、販売手数料など

※(1)、(2)ともに「所得税青色申告決算書」の10%相当額を補助予定（上限あり）

●予算額 2,000万円（補助金交付予定：200農業者）

⑤防災・防犯・安全安心に関する予算

(1) 八ヶ崎市営住宅の解体を進める

[新規]

令和8年度予算額：1億1,435万3千円

令和7年2月に用途廃止した八ヶ崎市営住宅の解体を進めます

(住宅政策課 ☎047-366-7366)

概要

八ヶ崎市営住宅（所在：八ヶ崎四丁目13番地）は昭和45年から48年にかけて築造され50年以上が経過し、施設の老朽化や耐震性不足等の理由から、令和7年2月に用途廃止しました。それに伴い、解体工事を進めるため、同工事の設計及び周辺家屋調査を実施します。

◆八ヶ崎市営住宅解体工事に伴う家屋事前調査業務委託 8,000万円

◆八ヶ崎市営住宅解体工事に伴う設計業務委託 3,435万3千円



1号棟



2号棟



3号棟

⑤防災・防犯・安全安心に関する予算

(2) 市営水道料金の一部減免 新規

令和8年度予算額：9,409万6千円

千葉県と連携して市営水道料金の一部を減免します

(水道部総務課 ☎047-309-4007)

【減免対象】 主に一般家庭で使用されている小口径（13、20、25mm）の水道料金

【対象世帯数】 約 40,800世帯

【実施期間】 4か月（令和8年7月～10月検針分を予定）

【減免率】 20%

【予算額】 県交付金額 9,409万6千円

（収入）給水収益△8,409万6千円

（支出）システム改修等必要経費 1,000万円

【減免のイメージ】

（税込み）

世帯人数	2ヶ月の 使用水量 (目安)	2ヶ月の 水道料金※ (減免前)	2ヶ月の 水道料金※ (減免後)	2ヶ月の 減免額	4ヶ月の 減免額
 1人	16m³	2,310円	1,848円	△ 462円	△ 924円
 2人	30m³	4,510円	3,608円	△ 902円	△ 1,804円
 3人	40m³	6,710円	5,368円	△ 1,342円	△ 2,684円

※ 減免のイメージの水道料金は、令和8年4月1日以降の料金表を用いて算定。

⑤防災・防犯・安全安心に関する予算

(3) 街頭等への防犯カメラの設置（新設・更新）拡充

令和8年度予算額：6,133万4千円

地域の治安向上に繋げるため、街頭及び公園等に防犯カメラを設置します

担当課は下記参照

●予算額 6,133万4千円

【県内近隣市比較（自治体管理の街頭防犯カメラ台数：R7.3末）】

市	松戸市	千葉市	市川市	船橋市	柏市
台数	616	83	328	3	178

※ 本市の設置台数が県内トップ

●予算内訳

【街頭】（市民安全課 ☎047-366-7285）

○市設置型防犯カメラ設置工事（新規30台、更新32台）

○市民参加型防犯カメラ設置補助金（25台）

小計4,242万4千円

【公園】（公園緑地課 ☎047-366-7380）

○公園内新設9か所10台（金ヶ作公園2台、常盤平公園・中堀込公園他6公園各1台）

1,655万7千円

【自転車駐車場】（交通政策課 ☎047-366-7439）

○自転車駐車場・新設15か所31台

196万7千円

【ごみ集積所】（廃棄物対策課 ☎047-712-0028）

○ごみ集積所への不法投棄対策のため、町会等へ防犯カメラを貸し出します。

38万6千円

⑤防災・防犯・安全安心に関する予算 (4) 八柱駅周辺地区の無電柱化の促進

令和8年度予算額：2億3,200万円

八柱駅周辺地区の無電柱化を促進します

(道路維持課 ☎047-366-7358)

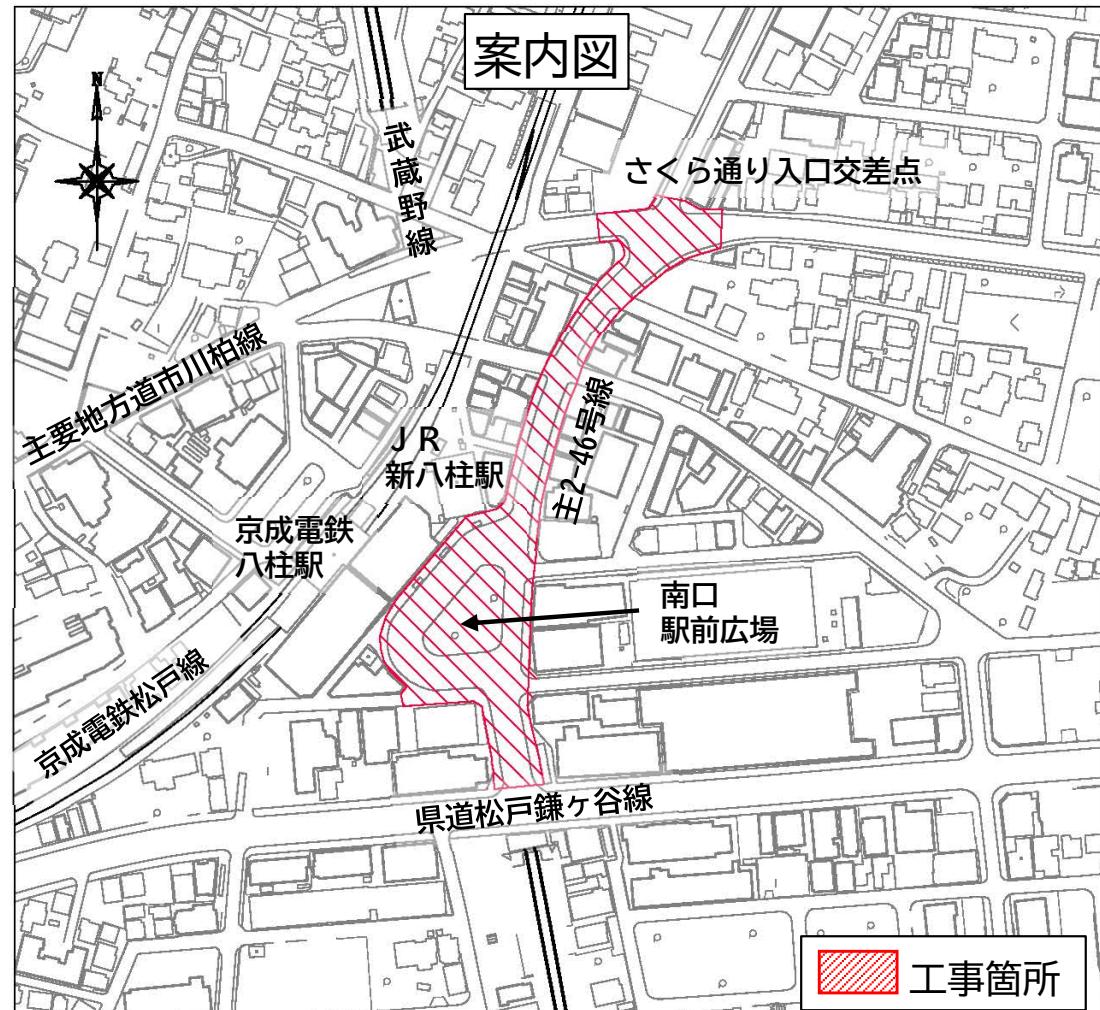
1 八柱駅周辺整備概要

八柱・新八柱駅南口において、無電柱化・バリアフリー化を進めるため、令和8年度から電線共同溝工事に着手します。

電柱の中地化を進めることで、自然災害に起因する電柱倒壊による停電リスクの低減、人に優しい歩行者空間の確保、景観の向上を図り、安全な街づくりを推進します。

2 無電柱化等スケジュール（予定）

項目	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
埋設・電柱等移設工事		事業者施工				
無電柱化工事			市施工			
電線(連携・引込)工事				事業者施工		
バリアフリー工事					市施工	



⑤防災・防犯・安全安心に関する予算

(5) 松戸駅周辺等の客引き行為等の防止対策の推進

令和8年度予算額：4,867万1千円

松戸駅周辺等を安心して歩けるよう、引き続き警備員による街頭巡回を実施します

(市民安全課 ☎047-366-7285)

●予算額 4,867万1千円

客引き行為等をさせない指導・監視・見守り体制を確立するため、警備体制を見直し、より一層市民が安心して松戸駅周辺等を利用できる環境を整備する。

【客引き行為等対策 指導員・警備員配置比較】

【R7】

曜日		月	火	水	木	金	土	日・祝 祝前日
配置時間	指導員	15:15～ 22:00	15:15～ 22:00	16:15～ 22:00	15:15～ 22:00	15:15～ 22:00		
	警備員			16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00
松戸駅	西口デッキ エスカレーター下	指導員	2名	2名			2名	
	警備員			4名	4名	4名	4名	4名
周辺全域	指導員	2名	2名	2名	2名	2名		
	警備員			2名	2名			
八柱駅・新松戸駅		指導員			2名	2名		

【R8】



曜日		月	火	水	木	金	土	日・祝 祝前日
配置時間		警備員	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00	16:00～ 23:00
松戸駅	西口デッキ エスカレーター下		4名	4名	4名	4名	4名	4名
	周辺全域							
八柱駅・新松戸駅					2名	2名	2名	2名

⑤防災・防犯・安全安心に関する予算

(6) 町会・自治会等のLED防犯灯の更新

令和8年度予算額：0円

債務負担行為設定額：22億6,080万円
(令和8年から令和19年)

地域の安全安心のため、市内防犯灯のリース事業を継続します。

(市民自治課 ☎047-366-7399)

【予算額（事業費限度額）】

22億6,080万円（リース及びメンテナンス10年間分）

【契約方式】

メンテナンス付リース契約

【契約期間】

契約締結日の翌日から令和19年10月31日まで

【事業対象】

市内の防犯灯 約38,600灯

【市が受ける専門的サービス】

- (1)新たなリース設備（防犯灯・管理プレート）への一斉交換
- (2)リース設備の維持管理・保証（無償修繕等）
- (3)専用電話回線のコールセンター設置

※プロポーザル選考委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により事業者を選定する予定です。

【リース対象】

防犯灯



管理プレート



⑥デジタル化・行財政改革・未来共創・魅力発信・環境に関する予算
(1) 市役所「デジタル改革」の推進

※県内初の取組み事業

新規

令和8度予算額：5,744万4千円

デジタル化の先にあるDXを推進し、より快適で豊かな社会の実現と新たな価値の創造を目指します

(デジタル戦略課 ☎047-366-7399)

新規 1 松戸市役所専用アプリ「デジタルまつどポータル」を導入 予算額 660万円

様々なシステムやサービスを、市民の皆さんにわかりやすく、簡単に活用していただくため、スマートフォンの一つの画面でオンラインサービスをご案内する、松戸市役所専用アプリ「デジタルまつどポータル」の正式導入を開始します。
(令和7年度は実証構築を実施、令和8年度活用開始。)

新規 2 生成AI総合案内（チャットボット）を導入 県内初！ 予算額 409万2千円

生成AIが、24時間365日、市民の皆さんのお問い合わせに幅広くお答えする「生成AI総合案内（チャットボット）」を導入します。生成AIが様々な情報を学習し、市民の皆さんからのお問い合わせに、幅広く柔軟で正確な回答が可能となります。

拡充 3 松戸市版メタバース「メタまーつ」の機能を拡充 予算額 2,000万円

松戸市版メタバース「メタまーつ」の機能を拡充し、さらに分かりやすく、楽しい情報提供を進めます。令和8年度は、地形マップを活かした新たな行政サービス3~5業務を拡充し、仮想上のバーチャル市役所として成長させ、複数の行政サービスを「いつでも・どこでも」利用可能とします。

継続 4 書かない窓口システムの活用を推進 予算額 2,147万2千円

市民の皆さまとの接点となるフロントヤード改革をさらに進めるため、「書かない窓口」の継続した活用や機能改善を推進します。マイナンバーカード等の活用による申請書の記入省略や、システム間の連携による事務処理の迅速化により、窓口に来所した皆さまの、「書かない」「待たない」「回らない」を実現します。

継続 5 手続き案内ナビゲーションの活用を推進 予算額 528万円

市民の皆さまが、スマートフォンなどから簡単な質問に答えるだけで、最適な手続き方法や持ち物等をご案内する「手続き案内ナビゲーション」の活用と機能改善を推進します。仮庁舎移転への対応や、今後も拡充するオンライン申請やコンビニ交付などを適切にご案内することで、市民の皆さまへのサービス提供までの時間を短縮します。

⑥デジタル化・行財政改革・未来共創・魅力発信・環境に関する予算
(2) 太陽光発電システム導入補助金の新設 新規

令和8年度予算額：498万円

「ゼロカーボンシティまつど」の実現のために既存住宅における太陽光発電設備の導入に対して補助金を交付します
(ゼロカーボンシティ推進担当室 ☎047-710-0243)

【概要】

近年、新築住宅への太陽光発電設備の導入は進んでいますが、既存住宅には初期費用の負担などが障壁となり、十分に進んでいないのが実情です。

そこで「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向け、地域内での再生可能エネルギーの更なる創出と同時に地域レジリエンス強化のため、太陽光発電設備の設置費用の一部を補助します。

【予算額】 498万円（最大6万円、83件を予定）

【対象】 市内の既存戸建て住宅（約9万5千棟）

【市内の太陽光発電ポテンシャル(建物)】 約1,000,000 kW

【現在の市内の太陽光発電導入率】 約5%（設備容量基準）

【CO₂削減効果】 約2t-CO₂/件（全体で166t-CO₂）

※本事業により削減されるCO₂

1haの杉林が1年に吸収するCO₂は8.8t-CO₂とされるため、本事業では杉林18.8ha分の吸収効果が見込まれます。これは東京ドーム4つ分の面積に相当します。

⑥デジタル化・行財政改革・未来共創・魅力発信・環境に関する予算

(3) 各種証明書のコンビニ交付手数料の10円キャンペーンの実施 新規

令和8年度予算額：256万6千円

さらなる市民の利便性向上を目指し、**令和8年7月から1年間「10円キャンペーン」を実施し、コンビニエンスストアでの交付を促進します**

(市民課 ☎047-366-7340)

事業内容

所管	証明書の種類	コンビニ交付サービス手数料額		
		現在 (窓口交付と同じ)	改正後	
市民課	住民票	300円	10円	200円
	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）	450円	10円	350円
	戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）	450円	10円	350円
	戸籍の附票	300円	10円	200円
	印鑑登録証明書	300円	10円	200円
市民税課	住民税・森林環境税証明書	300円	10円	200円

効果・影響

- 市民の利便性向上
- 職員の負担軽減
- 手数料収入の減収

さらなる市民サービス向上の取り組み

- 窓口・電話の受付時間の短縮
(業務効率化の検討時間の確保など)
- 異動手続きの休日対応
(行政サービスセンターで月2回程度から実施)

予算額

- コンビニ交付運営団体への手数料：152万1千円
(コンビニ交付の件数増加に伴う手数料増加分)
- 各システムの料金設定変更業務委託料：104万5千円
(住基システム60万5千円、戸籍システム44万円)
※税システム49万5千円(別途)

⑥デジタル化・行財政改革・未来共創・魅力発信・環境に関する予算
(4) 新焼却施設の整備に向けて

令和8年度予算額：9,598万円
(令和8年度以降の債務負担行為
設定額を含めた額
：1,040億5,162万1千円)

新焼却施設の整備を進めてまいります

(清掃施設整備課 ☎047-366-7335)

目的

本市のごみ焼却処理は、現在、和名ヶ谷クリーンセンター1施設で行っています。この施設は平成7年から稼働しており、すでに約30年が経過しています。今後も可燃ごみなどを安定的かつ効率的に処理していくため、旧クリーンセンター用地に、新たな焼却施設を整備します。

【全体整備スケジュール（予定）】

項目	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
環境影響評価	事前				■							
	事後				■	■	■	■	■	■	■	R17まで
家屋事前調査					■	■						
事業者選定				■	■							
事業者選考委員会				■	■							
設計・施工監理プロポーザル				■	■							
設計・施工監理				■	■	■	■	■	■	■	■	
設計・建設	解体				■							
	実施設計				■							
	建設工事				■							
	試運転				■	■	■	■	■	■	■	
稼働開始(R16.1予定)												

環境影響評価

工事・稼働に伴う周辺環境への影響を事前調査し、必要な保全措置を検討します。保全措置が実施されているか事後調査で確認します。

家屋事前調査

工事の振動等による周辺家屋への破損等を把握するため、工事前の周辺家屋状況の調査を行います。事後調査はしゅん工後に実施します。

事業者選定

技術提案型総合評価一般競争入札により事業者を選定します。学識経験者で構成する事業者選考委員会での選考を経て、12月に契約予定。

設計・施工監理

本市の要求水準書や落札者の提案通りに設計・施工されているか、第三者の視点で監理します。監理業者はプロポーザルで選定します。

設計・建設

旧施設解体・設計・建設工事を実施します。約3年間で解体、並行して設計・建設を約7年間で進め、半年の試運転を経て令和16年1月稼働予定。